

レクリエーション かながわ

# スコール

(S C O L E)

発行日 平成 5 年 1 月 1 日  
事務局 〒 221  
横浜市神奈川区三ツ沢  
西町 3-1  
神奈川県立スポーツ会館内  
電 話 (045) 320-2430

内容 ・第 7 回研修会行われる  
・島根スポーツレクリエーション祭に参加して

発行・神奈川県レクリエーション連盟／編集・専門(会員)委員会

あけましておめでとうございます



忍野八海より見る冬の富士

(篠崎理事長写す)

## 評 新年に期待する

時 会長 植村 恭作

一九九三年の新春を迎え、心からお慶び申し上げます。

昭和二十三年、この道に入ってから四十四年、その間レク界にもいろいろの変革がありました。ここ数年に見られる大変革は、誠に目をみはるものがあります。

その第一は人間の意識の変化で、従来レクは刺身のつまのような存在でしかありませんでしたが、近時の人生観は、人間は働いて生きるだけが生きる道ではない、与えられた人生を面白いと思えば、有意義に生きることがあり、レクこそ生甲斐と、意識が変わったのである。生きるためのつま的存在価値しかなかったレクが、この脇役からとうとう主役の位置に押し上げられたのである。この現実に伴い、レク活動の内容も素材も指導者の質も、すべて変わらなければならぬ。この大波濤を乗りきるため、レク関係者の意識改革を何よりも優先させなければ、この変革に因應することはできないと思ひ、新年にあたり一大勇猛心をもっての活躍を期待するものであります。

新しいテーマでの  
**第七回会員研修会**

今年度から、会員研修の新しいテーマに「余暇生活の支援者としてのレクリーターの役割」を掲げ、その第一弾として第七回会員研修会が海老名青少年会館を会場に開かれた

第七回会員研修会の内容は、日

レクの浅野晃先生の「日本人と余暇」と題した講演、横浜市の宅味大治氏と海老名市の高橋健二氏の「私の余暇生活」という実践発表、そして、ニュースポーツのグラウンドゴルフの実技講習でした。

まず、浅野先生の講演を簡単にご紹介します。先生は、余暇時間の増大している現状を三例ほど挙げられました。

まず、労働時間の短縮、隔週休二日制から週休二日制へ、そして年間労働時間千八百時間にむけて取り組んでいる企業の施策の実例を示されました。次には、九月からスタートした月一回の学校週五日制。いずれは全ての土曜日が休みになるでしょうとの見解を披露されました。三番目には、寿命の延びに伴う定年後の時間の増加。すでに各省庁とも、長寿社会にむけて定年後の支援のため各種財団が設立されているとの例を話されま

した。

この様に余暇は増加する一方ですが、その過ごし方はとなると：遊びが上手といわれる若い人の例を挙げて、お金があるから遊べている、マニュアル通り・その場限り、ゴロテレの予備軍となっている等のご指摘をされました。また、女性の中には「自分をたしかめる」ことの必要性に気付き行動を起こしている現状も報告されました。



参加者の真剣なまなざし



体験発表する高橋氏と宅味氏(左)

**体験発表**

**私の余暇生活**

「私の余暇生活」と題して、二人から貴重な体験談を発表していただきました。まず、宅味氏は、今年の九月に参加された、海王丸での米国への訓練航海について、

参加の動機や船内での生活、訓練の様子などを、男の夢とロマンを織り混ぜながら滑らかな口調で話されました。続いて、高橋氏は、余暇生活開発士としての余暇の過ごし方や、お金をかけない遊び方などを、体験を通してのアドバイスを含めて話されました。

**実技  
 グラウンドゴルフ**

午後の後半には、参加者が期待していたニュースポーツ体験・グラウンドゴルフの実技講習がありました。第六回会員研修会に引き続き二回目の講習となりますが、今回も神奈川県グラウンドゴルフ協会の指導員の方々による丁寧なご指導をいただきました。簡単に取り組めて、実際始めるとなかなか奥の深い楽しいゲームを、参加者全員が歓声をあげながら経験しました。また、最後には、県グラウンドゴルフ協会の講座修了証を全員がいただきました。



ゲームの説明に聞き入る

**第八回 会員研修会予告**

次回の第八回会員研修会は、「余暇生活の過ごし方」と題した講演、自分の余暇を見つめる演習、ネイ

チャーゲームやゲームダンス等の実技講習等を予定しています。(くわしくは四ページをご覧ください)



最後の寄せを試みる筆者

第5回全国スポレク祭は、いい汗 ふれあい 神の里、をあいことはに、十月十七日から二十日まで島根県で行われた

スポーツレクリエーション祭島根'92

本格コース体験

出合いが三年前、ターゲット・バードゴルフ、ましてやスポレク祭の存在すら知らなかった私が島根大会に出場し、大変良い体験と思いい出をつくる事が出来ました。

今大会は十月三日にオープンしたばかりの常設コースで山岳のゴルフ場を縮小した様な起伏にとんだ素晴らしい所で、定例会等での平坦なグラウンドの経験しかない私達にとって、この難コースのラインを境にした天国と地獄を味わいな

がら、大会の主旨である、世代、地域を越えた交流を深める事の素晴しさを知りました。長く続ける事は、なかなか難しい事ですが、「継続は力なり」、これからも生涯スポーツとして、いい汗を流して仲間づくりをしていこうと思います。  
(渡辺 猛)

県レク視察団派遣

九八国体に向けスポーツレクリエーション振興をはかるため、県生涯スポーツ振興会議の支援もあり、県レクから初のスポレク祭視察団が島根県出雲市へ出かけました。

かなりの自己負担があるにもかかわらず、熱心な理事幹部、公認指導者、種目団体代表が二十一名、行き帰りが夜行列車という強行スケジュールでしたが、ものともせず、到着早々、なごやかな雰囲気ので繰り広げられた開会式に参加。その後も一行は、神奈川県選手団の激励、シンポジウム参加、各種スポーツ施設の見学と精力的に行動しました。

おじやまします

〈3B体操協会神奈川県支部〉

3B体操協会は、全国組織で活動しており、全国の愛好者は30万人を越えています。今回3B体操神奈川県支部は、県レクへの加盟が認められ、平成4年10月22日グリーンウェイ相模原92、はまぎん友好のステージで親睦交流をもつ事ができ、神奈川県民一人一人のご協力があり無事終了致しました。皆様、3B体操ってどんな体操か、ご存じでしょうか。

3つの道具、ボール、ベル(八の字になった空気袋)、ベルト(ビニール製のロングベルトと輪)を使用する事から道具の頭文字をとって3B体操と名付けられました。一人の主婦が肥満に苦しみ考察したものです。道具にたよりながら

なかでもゲートボール会場にあてられた木造の全天候施設、出雲ドームには一様に感銘を受けたようで、素晴らしいの連発でした。この視察の結果は、昨年十二月二十三日に、第一回として、始められた神奈川県スポーツレクリエーション大会の今後に生かされていくことと思います。

無理なく体操がつづけられ、30代から60代の主婦が健康作りががんばっています。現在、神奈川県支部では、講師約34名が、教室をもって活動、障害者の方々も週一回のレッスン(健康作り)に、きもちの良い汗を流しておられます。

(事務局) 〒223 横浜市港北区 日吉一丁目21番36号 小川陽子 電話 ○四五-561-二〇三四



参加しましたか 県スポレク大会

十二月二十三日、初の神奈川県スポーツレクリエーション大会が平塚市総合公園内のいろいろな施設をつかって行われました。

午前中は講演、午後は各種目レクスポ団体によって、真剣で楽しい競技が繰り広げられました。

# 事務局だより

## 日本レクリエーション協会 情報よ

○公認レクリエーション指導者の「レクリエーション・コーディネーター」資格への移行措置についての基本的な考え方が発表されました。①現上級・一級指導者は全員移行が原則となり、②移行に当り、1. 移行講習、2. 移行猶予期間、3. 無試験、4. 講習料は実費、が考えられています。③現在学習中の「レクアカデミー受講生」については別途の移行内容となります。

○移行講習会は次の様に考えられています。集合学習（講習）はA（一級取得後10年未満）、B（一級取得後10年以上）、C（上級取得後10年未満）、D（上級取得後10年以上）の四区分にわけ、Aは三泊四日、Bは二泊三日、Cは一泊一日、Dは一日講習となります。そのほか、レポートが必要です。講習会は平成5年度からブロックごとに年一回開催が予定されています。

○①地域スポーツ指導者、商業スポーツ施設指導者、少年スポーツ

指導者、スポーツプログラマー種の資格者はそれぞれ相応の、②体育系大学・短期大学の卒業者なども履修した科目の内容、程度により、一部あるいは全部の学習免除があります。

○11月22日に都道府県レク協・レク上級指導者・余暇生活開発士相談員の懇談会が開催されましたが、その際、余暇生活開発士、余暇生活相談員の都道府県レク組織（日レク支部）への参加が日レクにより呼びかけられました。

## 県レク情報

○一月二十四日(回)

第4回 会員交流会

(賀詞交歓会)

会場 横浜 華正楼本店

会費 七、〇〇〇円

○二月二十七(出)二十八日(回)

第八回 会員研修会

会場 足柄ふれあいの村

会費 七、〇〇〇円

テーマ 余暇生活

主な内容

☆余暇の過ごし方

☆余暇生活設計演習

☆ネイチャーゲーム

☆ゲーム・ダンス・歌

☆懇親

講師には日本体育大学教授

今井 毅 氏

ふれあいの村所長

佐野美三雄氏

を予定しています。

○住所変更はすぐに会員委員会へ届けてください。

## 県内ネットワーク

○県ターゲットボードゴルフ協会

日時 一月十日(回)

日時 二月十四日(回)

ふれあいスポーツ

会場 善行 体育センター

両日とも午前中

日時 二月二十一日(回)

定例競技会

会場 西湘スポーツセンター

申込先 ○四六二一51一三七三七

波多野良子方

○神奈川県ベタंक協会

第五回巡回指導者講習会

日時 三月十四日(回)

十時〜十五時

会場 善行 県立体育センター

参加費 四、五〇〇円

申込先 ○四五二832一四三三八

事務局 藤野方

○県レク加盟団体の広報を掲載します。投稿してください。

# 事務局日誌

あれも、これもじつくり腰を落ちつけてやってみようと思っはいるのですが、現実はそのようにはいかないようです。毎日忙しく一日一日が過ぎ去って行きます。

事務処理で気になるのは、十二月も、登録更新事務に支障が出ています。折角ライセンスを持っていてのに、勿体無い事です。現在の社会のニーズに応えるためにも更新をお願いしたい。事務局との連絡を密にしてほしい。(三浦)

## 編集後記

忙しい思いをして、またやっとスコールを發行できる。スコールの語源をさかのばれば、「余暇」だという。

しかし、「余暇」とは何と不思議な言葉なのだろう。「労働」第一の思想がそこには見える。ギリシヤ語には仕事をさす言葉がないのである。アリストテレスは「余暇が物事の要、全てはそれを中心にまわっている」と言った。相変わらず、原稿の集まりが私の時間を奪う。「暇」のために「暇無し」になっている現実をどう考えてみたらよいのだろう。今年も、素敵に過ごしていきたい。(藤野)